

JRIS

鉄道車両ージャンパ連結器

JRIS E 4202 : 2005

(JARI)

平成 17 年 3 月 3 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

社団法人 日本鉄道車輛工業会 発行

まえがき

この規格は、**JIS E 4202-1991**が平成13年6月27日に廃止されたのに伴い、その技術的内容を継続して利用することができるように、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。会長及び鉄車工規格審査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JRIS “Eシリーズ” 制定の背景

日本工業規格（**JIS**）は、従来、製品仕様を規定する規格及び性能を規定する規格とが含まれていた。近年、国際規格との整合化を考慮して、徐々に性能を規定する規格は残し、使用分野が限定されている製品仕様の規定は当該産業分野の団体規格へ移管するとの方針が出され、廃止される**JIS**が多くある。

廃止された**JIS**のうち、鉄道車両の分野で、今後も継続的に使用する可能性のある規格は、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、“Eシリーズ”として区分し、その規格番号は、継続性を保てるように、前身の**JIS**番号を踏襲している。

JRISは、関係する技術分野に応じて四つに区分した体系で構成している。

この規格の“Eシリーズ”のほかに、“D”、“R”、“J”シリーズがある。

目 次

ページ

1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 指定次項及び協定事項	1
4.1 発注者の指定事項	1
4.2 当事者間の指定事項	2
5. 使用条件	2
6. 定格及び心数	2
7. 性能	2
7.1 互換性	2
7.2 温度上昇	2
7.3 接触抵抗	2
7.4 絶縁抵抗	3
7.5 耐電圧	3
7.6 耐振性	3
7.7 防水性	3
8. 構造	3
9. 形状・寸法	3
9.1 形状・寸法	3
9.2 絶縁距離	3
10. 外観	3
11. 試験	4
11.1 互換性試験	4
11.2 温度上昇試験	4
11.3 接触抵抗試験	4
11.4 絶縁抵抗試験	4
11.5 耐電圧試験	4
11.6 振動試験	4
11.7 防水試験	4
12. 検査	4
13. 表示	5

鉄道車両－ジャンパ連結器

Rolling stock - Jumper couplers

1. **適用範囲** この規格は、鉄道車両に用いるジャンパ連結器(以下、連結器という。)について規定する。
備考 連結器とは、栓、栓受け及びジャンパ線からなり、ジャンパ線を介して車両と車両との間を電氣的に接続する器具をいう。ジャンパ連結器の構成例は付図 1 による。

2. **引用規格**
JIS E 4001 鉄道車両用語
JIS E 4031 鉄道車両部品－振動試験方法
JRIS E 6801 鉄道車両－ジャンパ線

3. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS E 4001** による他は、次による。
 - a) **栓** **JRIS E 6801** に規定する線心の導体に接続された接触片をもち、栓受と結合させる連結器の部分。
 - b) **栓受** 車体に固定され、ケーブルの導体に接続された接触片をもち、栓と結合させる連結器の部分。
 - c) **充電部** 正常な使用状態で電圧が印加されている導体及び導電性部分。
 - d) **接地部** 車体と同電位となる栓体及び栓受体の部分。

規格概要のため以下は省略する。